

市制に関する
住民アンケート結果
報告書

平成22年12月
長久手町企画政策課
市制施行準備室

目 次

1	アンケートの概要	1
	(1) 実施目的	(2)
	(2) 実施方法	(2)
	(3) アンケートの配布及び回収数	(2)
	(4) 集計結果の見方	(3)
	(5) アンケート結果の精度について	(4)
2	アンケート結果	5
	(1) 回答者の属性について	(5)
	(2) 市への移行について	(7)
	(3) 市の名称について	(9)
	(4) 住所表示の方法について	(12)
	(5) 自由意見について	(14)
3	資料	18
	(1) 集計結果一覧	(19)
	(2) 市制に関する住民アンケート票	(21)

1 アンケートの概要

(1) 実施目的

市制施行に関して、市への移行や市の名称、住所表示の方法について住民の考えを把握することを目的として実施しました。

(2) 実施方法

- ① 対象者：町内全世帯
- ② 配布方法：アンケート票及び返信用封筒を広報11月号に折り込んで配布
- ③ 回収方法：郵送回収
- ④ 実施期間：平成22年11月1日（月）～平成22年11月22日（月）

(3) アンケートの配布及び回収数

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率 (%)
22,272	4,679	4,666	21.0

※ 問4～問7について、いずれかの設問に回答している場合、有効回答としました。

(4) 集計結果の見方

- ① 設問ごとの回答比率についてはすべてパーセント (%) で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ② 設問の要求形式に合わない回答は、無効として取り扱いました。
- ③ 無回答及び無効については、あわせて無回答と表示しました。
- ④ 性別、年齢、居住年数における無効、無回答は、属性の集計に含んでいません。ただし、各設問における全体集計には含みます。
- ⑤ 地区別の回収数については、問6住所の設問に無回答であったものを除いているため、回収数の合計と全体の回収数は一致しません。
- ⑥ 各設問の地区別の集計における「大字、字がつかない地区」には、平成22年10月9日の長湫中部土地区画整理組合事業による換地処分に伴い、字名地番が変更となった地区を含みます。
- ⑦ 問6について、「2「大字長湫」の住所」を選択し、具体的な字名に段ノ上や富士浦など、平成22年10月9日の長湫中部土地区画整理組合事業の換地処分に伴い、字名地番が変更となった地区の旧名が記入されている場合は、「1「大字」、「字」がつかない住所」に読み替えました。
- ⑧ 問6で「1「大字」、「字」がつかない住所」を選択したにもかかわらず、問7を回答している場合、問7の回答はないものとししました。また、上記⑥のケースの場合についても、問7の回答はないものとししました。
- ⑨ グラフの表記について、年齢別の集計について、問2では「30～39歳」などしていますが、グラフでは「30歳代」と表記しています。また、地区別の集計について、問6では「「大字」、「字」がつかない地区」としていますが、グラフでは「大字なし」と表記しています。

(5) アンケート結果の精度について

今回のアンケートは、市制に関して住民の考えを把握するために行いましたが、実際には、すべての世帯から回答を得ることは困難であるため、すべての世帯から回答を得た場合との間に誤差（標本誤差）が生じます。

この誤差について、±3%以内であれば統計学上で許容された誤差範囲とされており、この誤差はサンプル数（標本数とも言う。この場合、有効回答数と置き換えても結構です。）が多ければ多いほど少なくなります。

サンプル数と誤差との関係を見てみると、図1の式により算出した図2（サンプル数決定の早見表）のとおり、設問に対する回答状況によって異なります。ここでは、二者択一式の設問で最も誤差が生じやすい50:50程度となる回答の場合（「A」と回答した人と「B」と回答した人が同程度のケース）に必要なサンプル数がどれくらいかであるかを判断材料とします。これを図1の式に当てはめると、1,111件の有効回答数があれば、統計学上で許容された誤差±3%におさまっている確率が95%（信頼度。100回アンケートを実施しても95回は同じ誤差の範囲内におさまるという統計用語。）となります。

今回のアンケートの場合、4,666件の有効回答数が得られており、これを図1の式に当てはめると、誤差は±1.43%であるため、市制に関する長久手町全体の住民意見を集約するためには十分な精度を得ているものと考えます。

図1 サンプル数算出式

$$\text{サンプル数 (n)} = \left(\frac{k}{E} \right)^2 \times P \times (100 - P)$$

n : サンプル数、P : 回答率 (%)、E : 標本誤差、k : 信頼度係数 (※)
 ※ : 信頼度係数は、信頼度95%の場合は1.96である。

図2 サンプル数決定の早見表

標本誤差 (E) 回答率 (P)	±1%	±2%	±3%	±4%	±5%
50, 50	10,000	2,500	1,111	625	400

2 アンケート結果

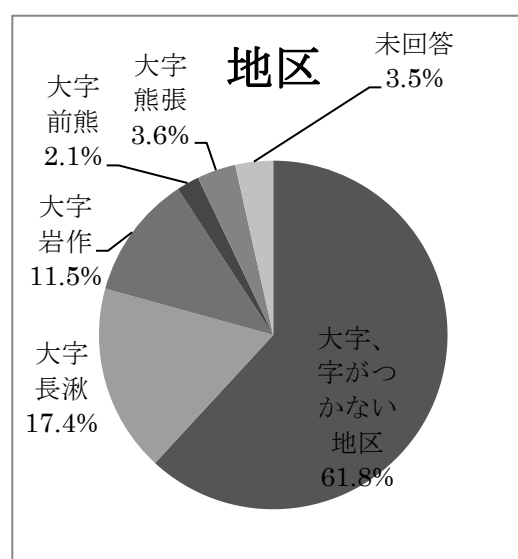
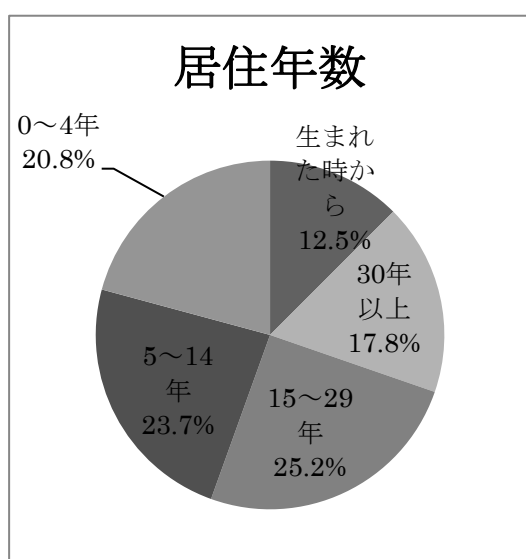
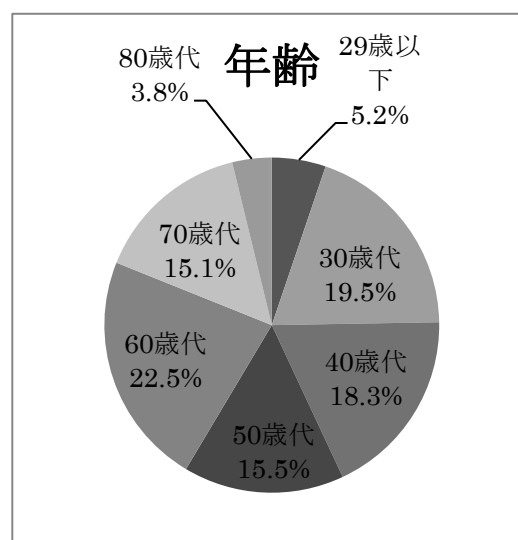
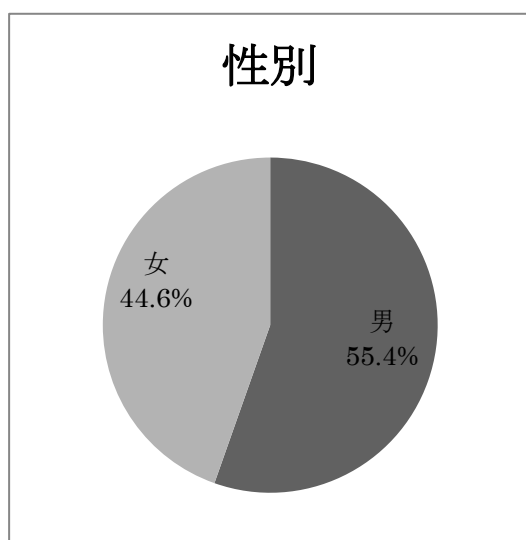
(1) 回答者の属性について（問1～問3、問6）

性別は、「男」が55.4%、「女」は44.6%となっています。

年齢別では、「60歳代」が22.5%と最も多く、「30歳代」が19.5%、「40歳代」が18.3%、「50歳代」が15.5%、「70歳代」が15.1%と続いています。60歳未満の割合が58.5%、60歳以上の割合が41.4%となっています。

居住年数別では、「15～29年」が25.2%と最も多く、「5～14年」が23.7%、「0～4年」が20.8%と続いています。居住期間が15年以上の割合が55.5%、15年未満の割合が44.5%となっています。

地区別では、「大字、字がつかない地区」が61.8%と最も多くなっていますが、地区別の人口比率にほぼ比例しています。

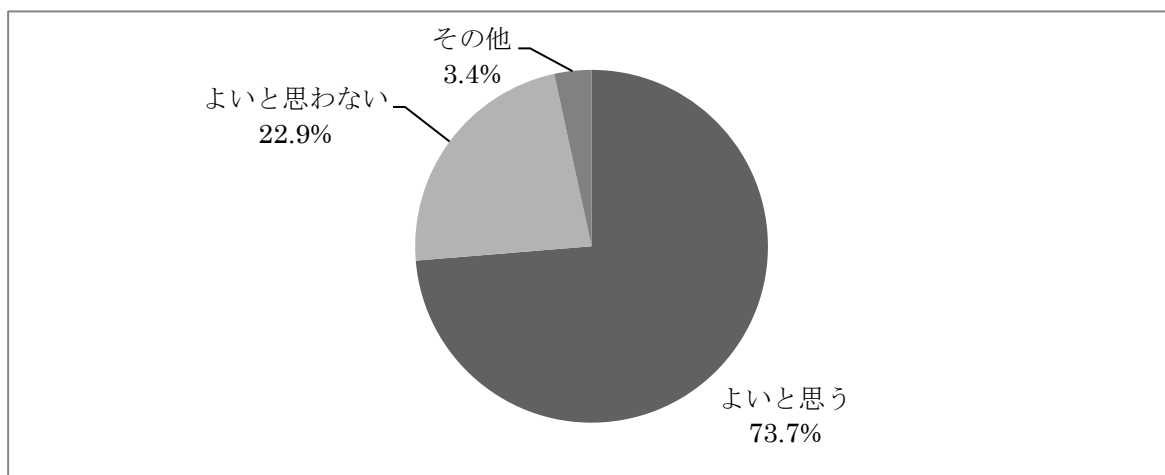


(2) 市への移行について (問4)

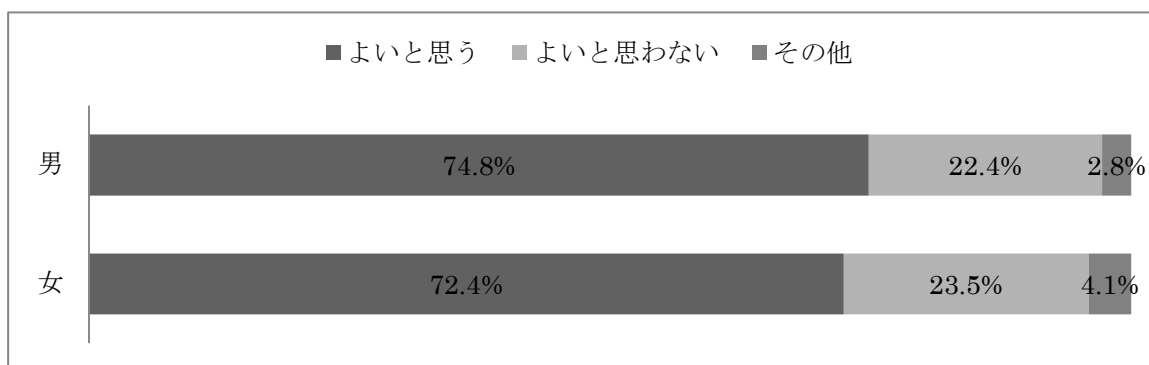
「市への移行についてどのように思うか」の問いに対し、「よいと思う」が73.7%と全体の約4分の3を占め、「よくないと思う」が22.9%、その他(わからない、未回答)が3.4%となっています。

「よいと思う」比率について、性別では「男」の比率の方が高く、年齢別では「29歳以下」、「80歳以上」が高く、「50～70歳代」はほぼ同様の比率となっています。居住年数別では「1～4年」が最も高く、「生まれた時から」が最も低く、ほぼ居住年数が少ないほど高くなる傾向にあります。地区別では「大字長湫」が最も高く、次いで「大字、字のつかない地区」、「大字岩作」と続いています。

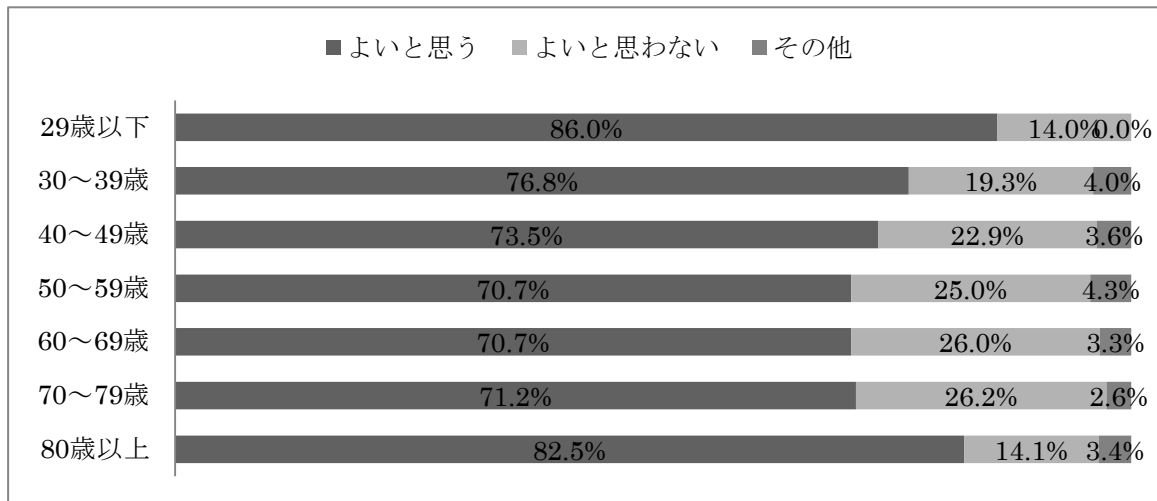
① 全体



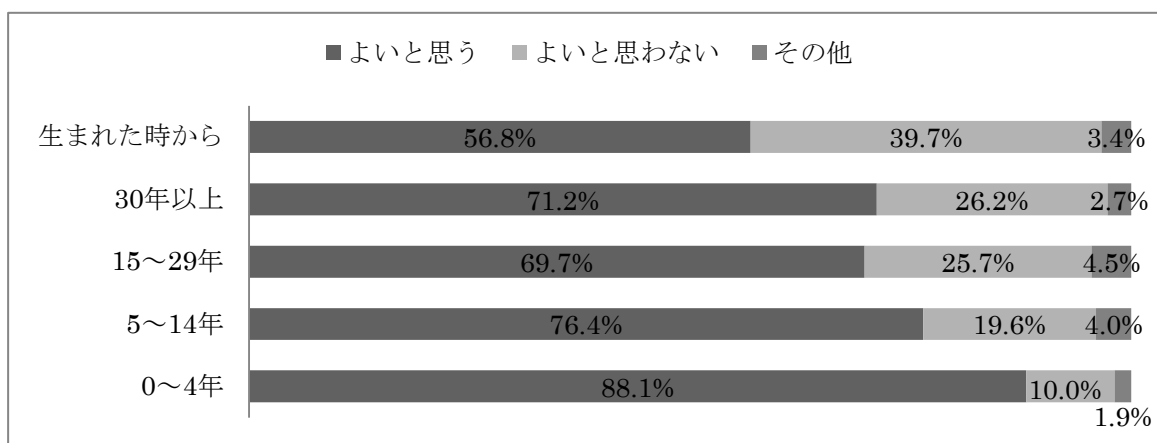
② 男女別



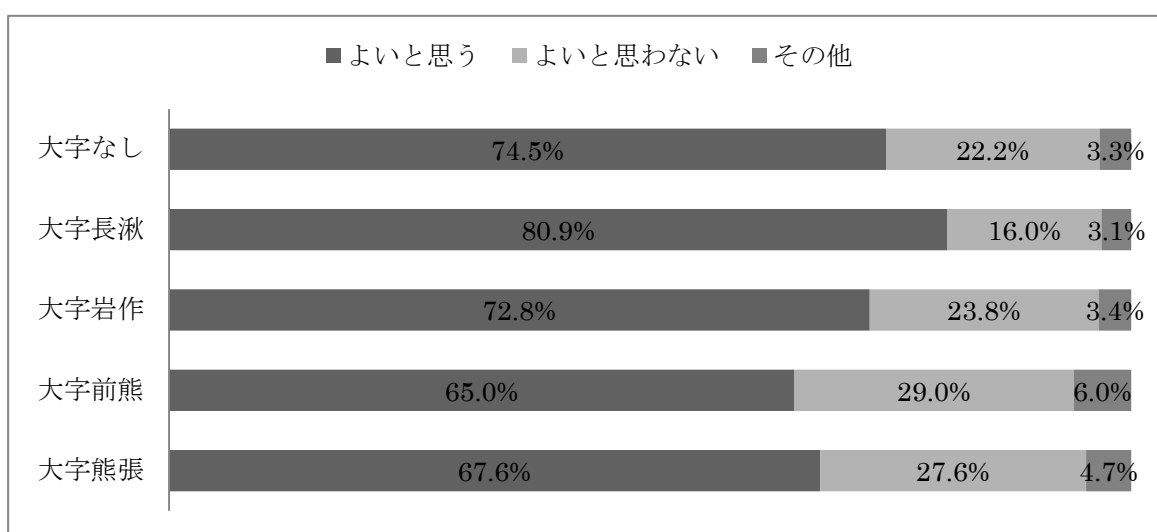
③ 年齢別



④ 居住年数別



⑤ 地区別

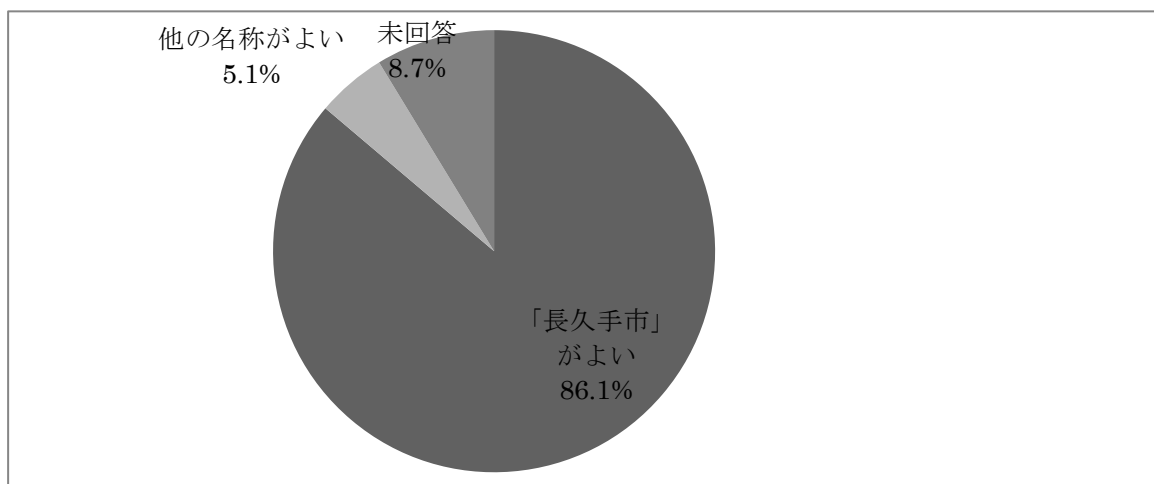


(3) 市の名称について (問5)

「市の名称を「長久手市」とすることについてどのように思うか」との問いに対し、「長久手市」がよい」が 86.1%、「他の名称がよい」が 5.1%、「未回答」が 8.7%となっています。

「長久手市」がよい」比率について、性別では「女」の比率の方が高く、年齢別では「29歳以下」が最も高く、20歳代～70歳代までは若い年代ほど高い傾向にあります。居住年数別では「0～4年」が最も高く、居住年数が長いほど低い傾向にあります。地区別では「大字長湫」が最も高くなっていますが、他の地区でもほぼ同様の比率になっています。

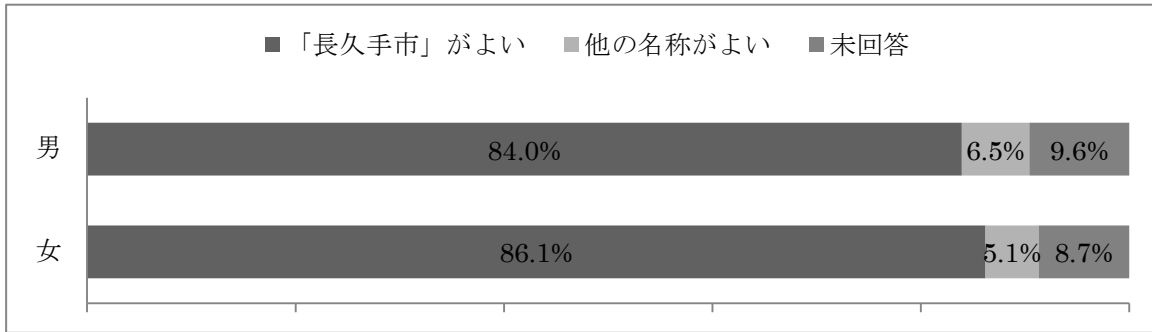
① 全体 (%)



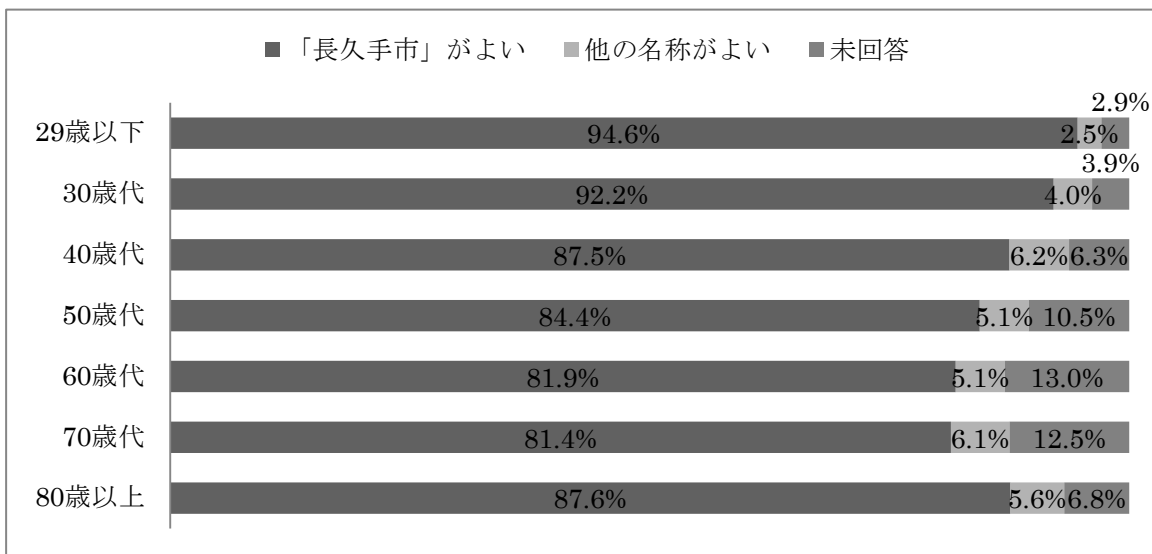
② 内訳

名 称	件数	名 称	件数
長久手市	4,019	モリコロ市	11
東名古屋市	49	東名市	5
ながくて市	38	万博市	3
愛知市	13	その他	72
長湫市	13	記入なし	35

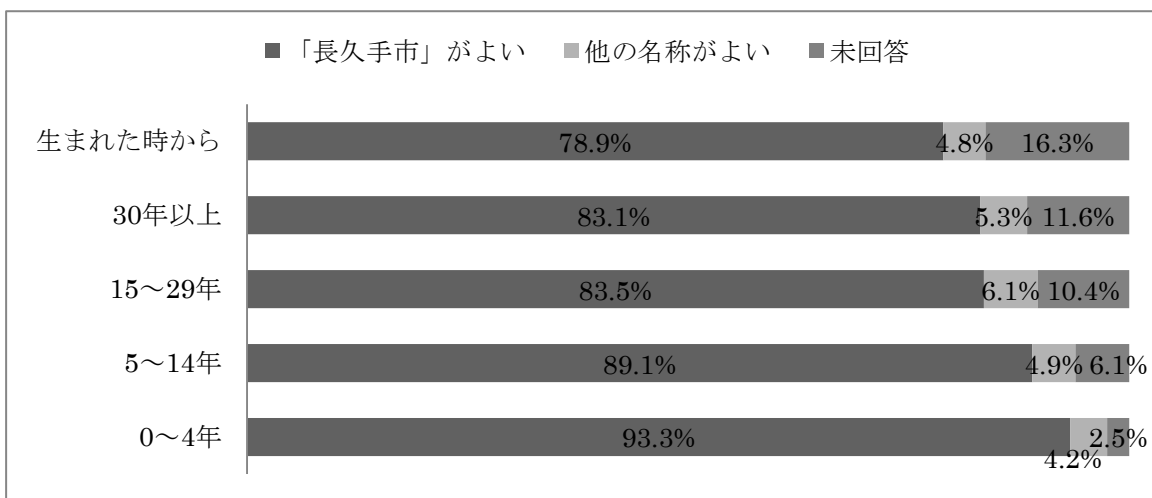
③ 男女別



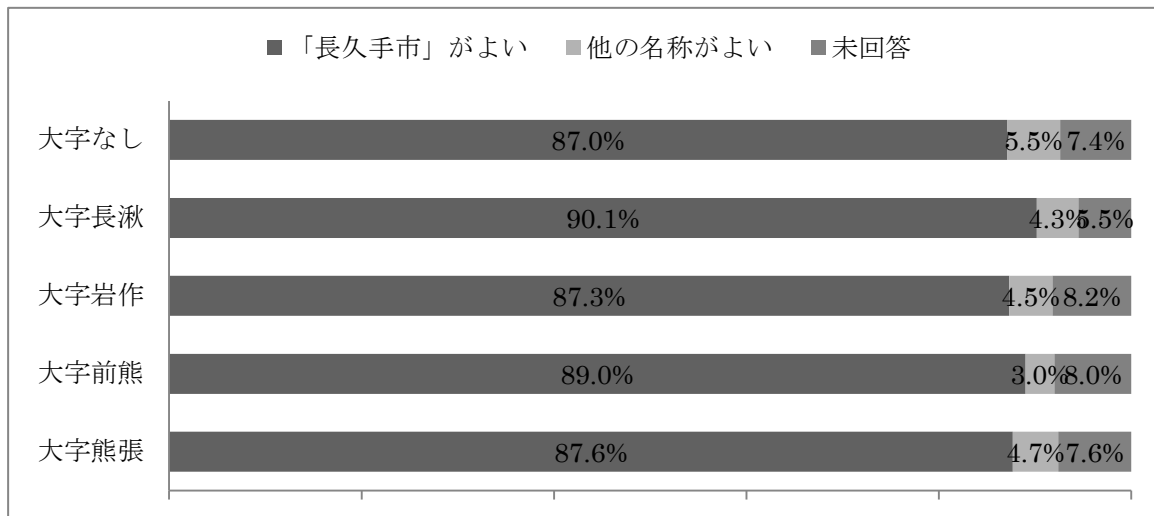
④ 年齢別



⑤ 居住年数別



⑥ 地区別



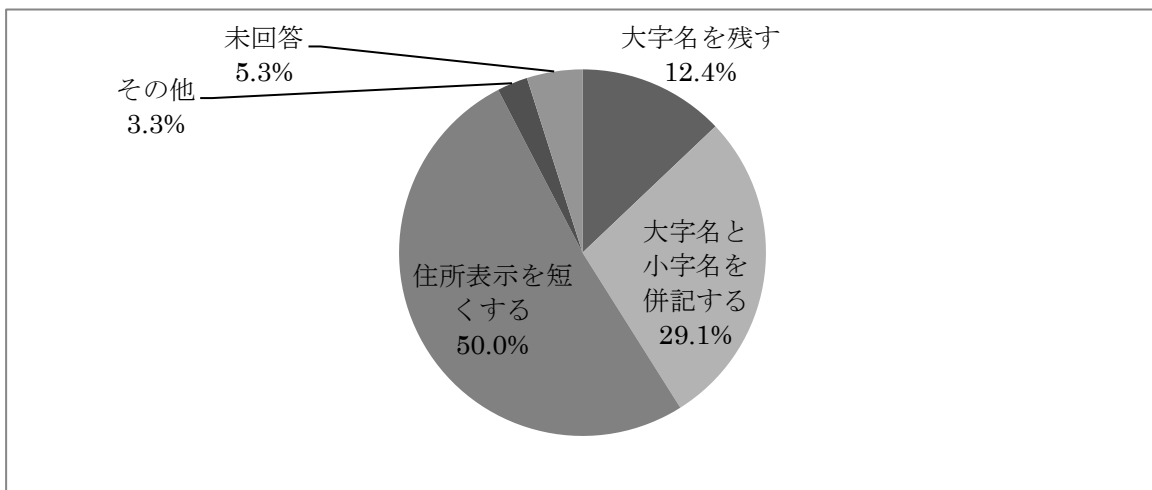
(4) 住所表示の方法について (問6、7)

問6で住所を尋ね、問7で住所が「大字長湫」「大字岩作」「大字前熊」「大字熊張」の方に、どの住所変更例がよいかを尋ねました。

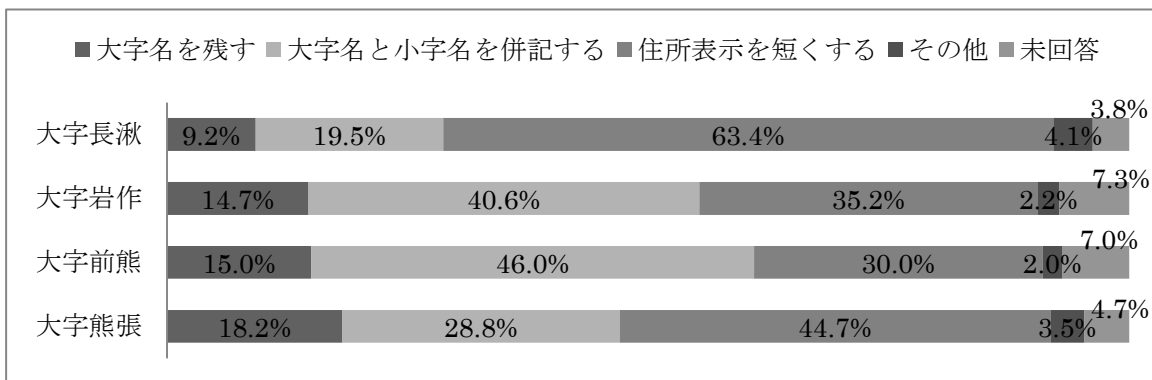
全体結果としては、「住所表示を短くする」が50.0%と最も多く、次いで「大字名と小字名を併記する」が29.1%、「大字名を残す」が12.4%と続いており、この両者を合わせても41.5%と、「住所表示を短くする」を下回っています。

地区別で見ると、大字長湫は「住所表示を短くする」が63.4%で、「大字名を残す」と「大字名と小字名を併記する」とを合わせた28.7%を大きく上回っています。これに対して、大字岩作、大字前熊、大字熊張では、いずれも「住所表示を短くする」よりも、「大字名を残す」と「大字名と小字名を併記する」とを合わせた割合の方が大きくなっています。

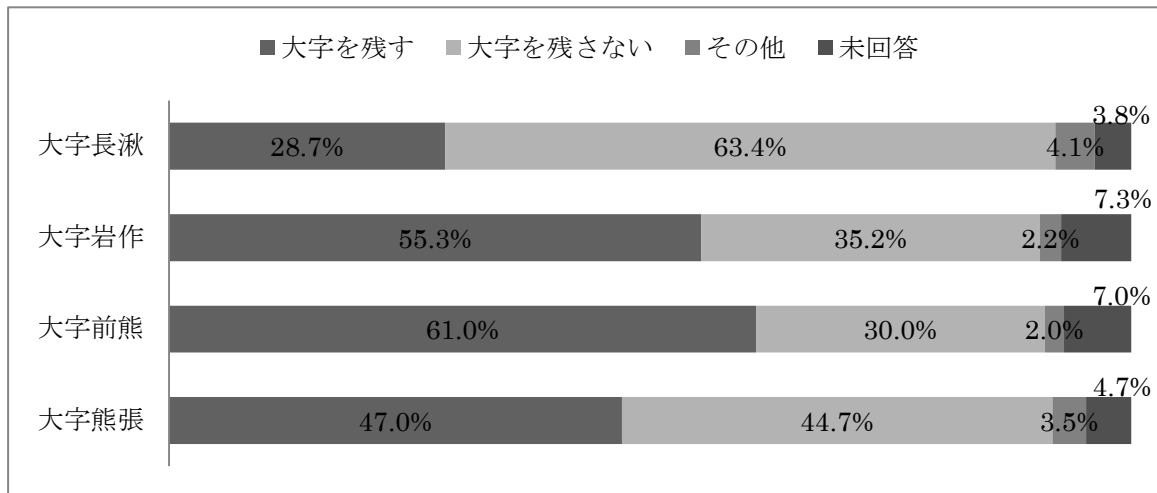
① 全体



② 地区別 I



③地区別Ⅱ



(5) 自由意見について (問8)

最後に、市制に関する意見を記入していただいたところ、全体の 38%に当たる 1,778 人から 2,486 件のご意見をいただきました。ここでは、意見の種別と、種別ごとの主な意見内容をそれぞれ示しました。(1人につき、複数の意見を記入している場合が多々あるため、意見件数の合計と意見人数とは一致しません。)

意見の種別及び種別ごとの主な意見は、下記の一覧をご覧ください。

① 市制に関する意見の種別

- ・市制への賛成に関する意見 (205 件)
- ・市制への反対に関する意見 (233 件)
- ・市の名称に関する意見 (50 件)
- ・移行時期に関する意見 (22 件)
- ・住所表示に関する意見 (177 件)
- ・メリット・デメリットに関する意見 (174 件)
- ・アンケートに関する意見 (122 件)
- ・民意・市制移行の判断に関する意見 (93 件)
- ・財政運営に関する意見 (移行経費、財政負担等) (49 件)
- ・税負担に関する意見 (市町村税、公共料金等) (197 件)
- ・合併に関する意見 (167 件)

② 町政全般に関する意見の種別

- ・福祉・子育て・医療に関する意見 (144 件)
- ・公共交通に関する意見 (リニモ、Nーバス等) (129 件)
- ・行政運営に関する意見 (住民サービス全般、職員等) (101 件)
- ・議会に関する意見 (議員定数等) (93 件)
- ・都市計画に関する意見 (市街地整備、道路、下水道等) (84 件)
- ・環境保全 (自然環境、ごみ処理等) (61 件)
- ・教育に関する意見 (55 件)
- ・防犯・交通安全に関する意見 (交番、街路灯等) (53 件)
- ・その他の意見 (277 件)

③ 市制に関する主な意見

市制への賛成に関する意見 (205 件)
<ul style="list-style-type: none">・市になるのは長久手の発展の証なので、1日も早い市制施行を望む。・市に移行して、今まで以上に充実した住民サービスを期待する。・5万人突破を機会に早く市になってほしい。・先を見通して持続可能な市を実現してほしい。
市制への反対に関する意見 (233 件)
<ul style="list-style-type: none">・現在に満足しているため、人口が市のレベルになっても身近な町のままが良い。・市になると今以上の経費が発生するなど、住民サービスが低下する恐れがある。・地域格差など、現在の課題を解決してから市に移行すべきである。・人口日本一の「町」の方がよい。
市の名称に関する意見 (50 件)
<ul style="list-style-type: none">・「ながくて市」や「長湫市」、「東名古屋市」などは絶対避けてほしい。・由緒があり、知られた地名でもあるため「長久手市」とすべき。
移行時期に関する意見 (22 件)
<ul style="list-style-type: none">・早急に市に移行せず、もう少し準備に時間をかけてほしい。・市制の要件さえ整えば、早く市に移行すればよい。・人口が5万人だからと市制移行を急ぐ必要があるのか理解できない。
住所表示に関する意見 (177 件)
<ul style="list-style-type: none">・区画整理事業と市制とで短期間に2度の住所変更は手続きが面倒である。・地名は歴史と文化を表すものであるため、大字を含め今ある地名は残してほしい。・今の住所表示は長いため、簡素化してほしい。・「岩作」「長湫」などの難読な地名は、市制を機に削除してほしい。
メリット・デメリットに関する意見 (174 件)
<ul style="list-style-type: none">・市に移行するメリット・デメリットがよく分からない。・市制は住民にとってメリットがない。・メリット・デメリットを詳細に示してほしい。・メリット・デメリットばかりではなく、日常生活の変更点が知りたい。
アンケートに関する意見 (122 件)
<ul style="list-style-type: none">・市になることを前提としたアンケートであり、もっと早く実施すべき。・多くの住民は市になることを望んでいるため、アンケートは不要である。・市制反対者は問5以下は回答不要にするべきである。・このアンケートの結果はしっかりと公表してほしい。

民意、市制移行の判断に関する意見（93件）
<ul style="list-style-type: none"> ・市制移行の可否について、住民投票で決めるべき。 ・じっくり時間をかけてオープンな議論で決定されることを望む。 ・町議員選、町長選の後に市制を決定するべきである。
財政運営に関する意見（移行経費、財政負担等）（49件）
<ul style="list-style-type: none"> ・極力臨時的経費や経常的経費は抑制してほしい。 ・市になっても税収は増えず、逆に経費が増えて今後の財政運営が不安である。 ・市制移行後の財政計画が不明瞭である。
税負担に関する意見（市町村税、公共料金等）
<ul style="list-style-type: none"> ・税の負担増は避けてほしい。 ・水道・下水道料金、国民健康保険税が高いので安くしてほしい。 ・税負担に変化があるのか知りたい。 ・市になったら、名古屋市のように市民税の減税を実施してほしい。
合併に関する意見（167件）
<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市に合併すべきである。 ・名古屋市との合併がいつの間にか議論されなくなった。 ・名古屋市を含め、他市町との合併には反対する。 ・単独市制か合併かを議論した上で、方針を決定するべきである。

④ 町政全般に関する主な意見

福祉・子育て・医療に関する意見（144件）
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園をもっと充実してほしい。 ・高齢者に対する交通機関無料パスなど、高齢者福祉を充実してほしい。 ・子ども医療費無料の拡充や子宮頸がん・各種ワクチンの助成など、医療サービスを充実してほしい。 ・障害者に対する補助の拡充など、障害者福祉を充実してほしい。
公共交通に関する意見（リニモ、Nーバス等）（129件）
<ul style="list-style-type: none"> ・Nーバスルートの見直しや本数を増便してほしい。乗換も不便である。 ・公共交通維持費が財政圧迫や行政サービス低下を招かないようにしてほしい。 ・manaca がリニモでも共通利用できるよう、利便性の向上に努めてほしい。 ・リニモの経営を立て直し、廃線にならないよう努力してほしい。

行政運営に関する意見（住民サービス全般、職員等）（101件）
<ul style="list-style-type: none"> ・市への移行に伴い支出が増えるため、職員は増員しないでほしい。 ・市にふさわしい職員として意識改革に努めてほしい。 ・市に移行すると経費が増えるため、行政改革を一層進めてほしい。 ・市になることで、きめ細かな行政サービスが低下しないようにしてほしい。
議会に関すること（議員定数等）（93件）
<ul style="list-style-type: none"> ・市に移行しても議員定数は増やさないでほしい。 ・議員定数を減らすべきである。 ・議員報酬は増えることがないようにしてほしい。
都市計画に関する意見（市街地整備、道路、下水道等）
<ul style="list-style-type: none"> ・古戦場駅周辺など、リニモ沿線の住宅地・商業施設開発を進めるべき。 ・下水道整備を進めてほしい。 ・瀬戸大府線などの幹線道路や補助道路の整備、長湫南部周辺の交通渋滞を緩和してほしい。
環境保全に関する意見（自然環境、ごみ処理等）（61件）
<ul style="list-style-type: none"> ・市に移行しても、前熊や熊張の自然を残し、過度な開発は避けてほしい。 ・プラスチックごみの回収日を週1回にしてほしい。粗大ごみの有料化が残念。 ・ごみ出しのマナーが悪い人に対して、もっと徹底して指導してほしい。
教育に関する意見（55件）
<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加に伴い、小中学校の増設や手狭な教育施設の増築を進めてほしい。 ・名古屋市のように全小学校でトワイライトスクールを実施してほしい。
防犯・交通安全に関する意見（交番、街路灯等）（53件）
<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加に伴い治安の不安が増大しているため、警察署や交番を設置してほしい。 ・街路灯や防犯灯を増やして、安心して生活できる市になってほしい。 ・市ヶ洞地区の発展に伴う周辺の交通渋滞を緩和する手立てを講じてほしい。
その他の意見（277件）
<ul style="list-style-type: none"> ・総合運動場や武道場、手狭な体育館の解消など、スポーツ施設を充実してほしい。 ・花火大会やリニモ de イルミなど、誰もが楽しめるイベントを充実してほしい。 ・自治会の加入率が低下し、地域住民の交流が少ないため、自治組織の改革を進めてほしい。 ・人口が増加しているのに市ヶ洞地区には公共施設が少ないので、充実してほしい。 ・図書の充実や分室の整備など、図書館を充実してほしい。

3 資料

(1) 集計結果一覧

①回答数一覧（問4、5、7）

(件)

		問4「市への移行についての考え」			問5「市の名称についての考え」			属性計
		よい	よくない	未回答	長久手市	他の名称	未回答	
全 体		3,439	1,070	157	4,019	239	408	計 4,666
性別	男	1,920	575	72	2,155	166	246	計 4,630
	女	1,493	485	85	1,833	73	157	性別不明 31
年齢別	29歳以下	208	34	0	229	6	7	計 4,662 年齢不明 4
	30歳代	698	175	36	838	36	35	
	40歳代	628	196	31	748	53	54	
	50歳代	512	181	31	611	37	76	
	60歳代	742	273	35	860	54	136	
	70歳代	502	185	18	574	43	88	
	80歳以上	146	25	6	155	10	12	
居住年数別	生まれた時から	332	232	20	461	28	95	計 4,661 居住年数不明 5
	30年以上	590	217	22	689	44	96	
	15~29年	818	302	53	979	72	122	
	5~14年	845	217	44	985	54	67	
	0~4年	854	97	18	904	41	24	
地区別	大字なし	2,149	640	95	2,510	160	214	計 4,502 地区不明 164
	大字長湫	656	130	25	731	35	45	
	大字岩作	391	128	18	469	24	44	
	大字前熊	65	29	6	89	3	8	
	大字熊張	115	47	8	149	8	13	

		問7「住所表示の方法についての考え」				
		大字名を残す	大字名・小字名併記	住所表示を短く	その他	未回答
全 体		200	471	809	53	85
地区別	大字長湫	75	158	514	33	31
	大字岩作	79	218	189	12	39
	大字前熊	15	46	30	2	7
	大字熊張	31	49	76	6	8

②回答率一覧（問4、5、7）

(%)

		問4「市への移行についての考え」			問5「市の名称についての考え」		
		よい	よくない	未回答	長久手市	他の名称	未回答
全 体		73.7	22.9	3.4	86.1	5.1	8.7
性別	男	74.8	22.4	2.8	84.0	6.5	9.6
	女	72.4	23.5	4.1	88.9	3.5	7.6
年齢別	29歳以下	86.0	14.0	0.0	94.6	2.5	2.9
	30歳代	76.8	19.3	4.0	92.2	4.0	3.9
	40歳代	73.5	22.9	3.6	87.5	6.2	6.3
	50歳代	70.7	25.0	4.3	84.4	5.1	10.5
	60歳代	70.7	26.0	3.3	81.9	5.1	13.0
	70歳代	71.2	26.2	2.6	81.4	6.1	12.5
	80歳以上	82.5	14.1	3.4	87.6	5.6	6.8
居住年数別	生まれた時から	56.8	39.7	3.4	78.9	4.8	16.3
	30年以上	71.2	26.2	2.7	83.1	5.3	11.6
	15~29年	69.7	25.7	4.5	83.5	6.1	10.4
	5~14年	76.4	19.6	4.0	89.1	4.9	6.1
	0~4年	88.1	10.0	1.9	93.3	4.2	2.5
地区別	大字なし	74.5	22.2	3.3	87.0	5.5	7.4
	大字長湫	80.9	16.0	3.1	90.1	4.3	5.5
	大字岩作	72.8	23.8	3.4	87.3	4.5	8.2
	大字前熊	65.0	29.0	6.0	89.0	3.0	8.0
	大字熊張	67.6	27.6	4.7	87.6	4.7	7.6

		問7「住所表示の方法についての考え」				
		大字名を残す	大字名・小字名併記	住所表示を短く	その他	未回答
全 体		12.4	29.1	50.0	3.3	5.3
地区別	大字長湫	9.2	19.5	63.4	4.1	3.8
	大字岩作	14.7	40.6	35.2	2.2	7.3
	大字前熊	15.0	46.0	30.0	2.0	7.0
	大字熊張	18.2	28.8	44.7	3.5	4.7

(2) 市制に関する住民アンケート票

市制に関する住民アンケート

ご協力をお願い

長久手町では、平成22年の国勢調査の結果において人口5万人を超えることにより、市制の要件を満たすこととなります。そこで市制を目指すにあたり、長久手町にお住まいの皆様のご意見をお伺いするため、住民アンケートを実施することといたしました。

長久手町が「市」となることに関して、皆様のご意見をお寄せください。

なお、お答えいただいた回答については、統計的に処理した後、結果を広報やホームページで公表してお知らせします。

平成22年11月

長久手町長 加藤 梅雄

記入に当たってのお願い

1 調査の対象者

◇このアンケートは、町内に在住する全世帯を対象に実施しています。

2 記入方法

◇選択式の設問に対する回答につきましては、該当する番号1つに○印をつけてください。なお、「その他」に該当する場合は、()の中に具体的な理由をお書きください。

◇記入式の設問に関しては、ご自由に意見をお書きください。

◇ご回答に当たっては、ご家族でご相談いただき、ご家族を代表する方が、ご家族の総意としてお答えください。

3 提出方法・期限

◇ご回答いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れて、11月22日(月)までにポストへご投函ください。(切手は不要です。)

4 調査のお問い合わせ

◇このアンケートに関するご質問は、下記までお問い合わせください。

長久手町役場 市制施行準備室 電話 63-1111 (内線255)

問1 あなたの性別をお尋ねします。

1 男	2 女
------------	------------

問2 あなたの年齢をお尋ねします。

1 29歳以下	2 30～39歳	3 40～49歳
4 50～59歳	5 60～69歳	6 70～79歳
7 80歳以上		

問3 あなたは長久手町にお住まいになって何年になりますか。

1 生まれた時から現在まで
2 30年以上前（昭和55年）に転入
3 15～29年前に転入
4 5～14年前に転入
5 0～4年前に転入

問4 長久手町では、現在実施している国勢調査で5万人以上を達成することにより、市への移行を目指しています。

あなたは、市への移行についてどのように思われますか。

1 よいと思う
2 よいと思わない

問5 市の名称について、町としては、「長久手は古来より使用されている由緒ある地名である」「小牧・長久手の戦いや2005年日本国際博覧会により、その名は国内外に知られている」などの理由により「長久手市」がふさわしいと考えています。

あなたは市の名称を「長久手市」にすることについてどのように思いますか。

1 「長久手市」がよい
2 他の名称がよい（具体的な名称：_____市）

問6 あなたのお住まいの住所をお尋ねします。

1 「大字」、「字」がつかない地区	
2 「大字長湫」地区（具体的に字名をお書きください： _____ ）	} 「問7」へ
3 「大字岩作」地区（具体的に字名をお書きください： _____ ）	
4 「大字前熊」地区（具体的に字名をお書きください： _____ ）	
5 「大字熊張」地区（具体的に字名をお書きください： _____ ）	

問7 問6で「2」～「5」に「○」をつけた方にお聞きします。あなたのお住まいの住所表示の方法について、次の変更例のうち、どれが最もよいと思いますか。

【例 役場の住所「愛知県愛知郡長久手町大字岩作字城の内 60 番地 1」】
変更例
1 大字名を残す 「愛知県〇〇〇市岩作町城の内 60 番地 1」
2 大字名と小字名を併記する 「愛知県〇〇〇市岩作城の内 60 番地 1」
3 住所表示を短くする 「愛知県〇〇〇市城の内 60 番地 1」
4 その他 (具体的に：「愛知県〇〇〇市 _____ 」)

(注1) 上記で「3」を選択した場合、町内には重複する地名が14例あります。この場合、地名の重複を避けるため、以下のような住所表示が考えられます。

◎「下田」の場合

- ・愛知県〇〇〇市岩作下田△△番地
- ・愛知県〇〇〇市前熊下田△△番地
- ・愛知県〇〇〇市熊張下田△△番地

◎「西浦」の場合

- ・愛知県〇〇〇市西浦△△△番地
- ・愛知県〇〇〇市岩作西浦△△番地

(注2) 「大字」、「字」がつかない地区については、「愛知郡」の表記がなくなり、「長久手町」が「〇〇〇市」になる以外の変更点はありません。

